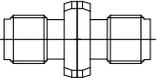


適用規格		MIL-STD-348B			
定格	使用温度範囲	- 55°C ~ + 105°C (95%RH MAX)	保存温度範囲	- 55°C ~ + 50°C (95%RH MAX)	
	電力	—W	特性インピーダンス	50Ω (0 ~ 40 GHz)	
	特殊性	—	適合ケーブル	—	
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 4 mΩ以下 外部コネクタ 2 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	○
	耐電圧	AC 500Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0.04 ~ 40 GHzにて測定する。 ① 測定方法はBack to Backで行う。	V SWR 1.10 以下 (0.04~18GHz) V SWR 1.15 以下 (18~26.5GHz) V SWR 1.30 以下 (26.5~40GHz)	○	—
	挿入損失	周波数 ---- ~ -- GHzにて測定する。	— dB以下	—	—
機械的性能	コンタクトの ゲージ保持力	$\phi 0.9195^{+0}_{-0.0025}$ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 — N以下 引抜力 0.4 N以上	—	—
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 — N以下 引抜力 — N以上	—	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 6 mΩ以下 外部コネクタ 4 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ~ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 12 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 1960 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	--N 以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。	—	—	
環境的性能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 -10 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → -- → +105 → -- °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△の数		訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	KY. SHIMIZU	15.10.22
RoHS適合品 注 ① Back to Back の測定状態			検図	TO. KATAYAMA	15.10.22
			担当	NK. OOSAWA	15.10.22
			製図	NK. OOSAWA	15.10.22
試験規格の記載のない試験方法はMIL-STD-202を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番		SLC-366760-12-00
HRS	製品規格表		製品名		HK-R-SR2-1 (12)
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL338-0003-0-12
					△ 1/1